

小学校外国語活動通信

鳥取県教育委員会事務局
小中学校課
小学校外国語活動担当
平成28年9月6日 No.5

教科化に向けて 体制整備が積極的に進められています！

これまでに各学校及び教育研究団体で取り組まれた一例を紹介します。

校内授業研究会

琴浦町立船上小学校

- ◆研究協議の視点
 - ・児童の思考力・判断力・表現力等を育成する授業構成と課題設定の工夫
 - ・指導者の役割分担と効果的な評価と支援
 - ・コミュニケーションできる学習活動の工夫
- ◆内容
 - 単元名「道案内をしよう (turn right)」
 - ・中核教員が全教員に授業を提案
 - ・研究協議を行い、本時のねらいを全教員で確認
 - ・指導助言

校内の教員全員が同じ授業を参観し、協議を行うことで、全教員が共通の話題で話ができる貴重な機会となりました。

校長先生のリーダーシップの下、中核教員を中心とした指導体制の強化に取り組んでいただいています。



校内研修（夏季休業中）

鳥取市立末恒小学校

英語教育改革に対応するため、小学校外国語活動の研修の必要性を感じられて取り組まれました。はじめに今後の動向についてお話をさせていただき、その後、「慣れ親しむ活動の実際」というテーマで演習を行いました。校長をはじめ、教員が積極的に英語を使用されていました。研修を行ったことで、**不安が軽減され、興味が増した**と感想をいただきました。



八頭町立郡家東小学校

はじめに今後の動向についてお話をさせていただき、その後の演習で「一単元で授業設計」を意識して「Let's go to Italy」の単元計画を作成していただきました。児童の興味関心をもとに、**必然性のある魅力的なコミュニケーションの場面を設定**していました。

また、自校の研究主題に照らしながら、外国語活動を捉えていらっしゃるのが印象的でした。

鳥取市

市小学校教育研究会 外国語活動部会

米子市

- ◆研究主題
「コミュニケーション能力の素地を育む外国語活動の充実」
- ◆内容
 - ・講義 今後の方向性と今できること
 - ・演習 小中連携を意識した小学校外国語活動



小学校教育研究会と中学校教育振興会が連携し、研修会をもたれました。**中学校の教員と協働して**小学校外国語活動の指導案を作成することで、**学びの系統性や連続性**を意識することができました。

- ◆研修テーマ
これからの外国語活動～『読む・書く』指導をどう取り入れるか～
- ◆講師
国立大学法人鳴門教育大学
大学院学校教育研究科准教授 畑江 美佳 氏

新学習指導要領改訂にあたり、高学年に「読む・書く」活動が導入されるといわれています。**読んだり、書いたりすることに慣れ親しむ**には、**絵本を活用**することが有効であると教えていただきました。

県内の現状として、**小学校と中学校の連携**を行っている学校は**多い**ものの、**学習内容や教材教具などの連携**を行っている学校は**多くはない**実態がみられます。例えば、「道案内」を取扱う単元で、小学校ではどのような表現を用いてきたのか、中学校ではどう発展していくのかを知って、それぞれの校種で授業を行うことも連携の一つです。このことは、児童生徒の学習に対する意欲や学びの質を保障することにつながります。全県において、**小学校と中学校の外国語担当教員がつながり、児童生徒の姿をもとに、また学習指導要領に示された内容に基づき、連携**が行われることを期待しています。

感想に、「小学校の内容を中学校にも取り入れたい」「小学校の外国語活動を参観したい」「小中で教材教具の情報交換を行いたい」などの前向きなものがありました。この研修が、小・中学校の本来の連携を進める機会となったように感じています。





情報提供

鳥取県英語教育推進会議 (平成28年7月29日 開催)

県教育委員会では、小・中・高等学校で一貫した見通しをもった英語教育の推進を図るため、平成25年度から英語教育推進会議でその方策を検討しています。小学校、中・高等学校に分かれて、児童・生徒が、気持ちや考えを伝え合う授業を行うにはどうしたらよいか、課題及び改善策について協議を行いました。小学校の課題としては、

- ▲気持ちや考えを伝えたいと思っても、語彙が不足している
 - ⇒慣れ親しみの活動の工夫改善が必要
 - 【改善策】朝の時間などを活用し帯学習を行う
音と意味をつなげる活動にしていく (語彙の intake)
繰り返し聞かせる活動にもしかけが必要
本当にポインティングゲームでいいの?
ジェスチャーを身に着けさせていく
- ▲安心して自己表現できる環境づくり
 - ⇒土台は学級経営。担任が外国語活動をする意義がここにある
- ▲考えを伝えたいくなる必然性のある授業
 - ⇒必然性のあるコミュニケーション活動を設定



新たな外国語教育のための補助教材 (中学年用) (http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1370103.htm)

中学年からは、外国語学習への動機付けを高めるため、**体験的に「聞く」「話す」を中心とした外国語活動**を通じて、**言語や文化についての体験的理解**や、**音声等への慣れ親しみ**等を発達段階に適した形で養うとともに、指導内容・方法や活動の設定、教材の工夫、他教科等で児童が学習したことを活用するなどの工夫により、指導の効果を高めることが必要です。

子どもたちは、**場面が繰り返される中で、語彙や表現にふんだんに触れる**ことで、状況からその**言葉の意味を推測**し、読み手とともにその言葉を発しながら**意味と言葉を結び付けて**いきます。

なお、本補助教材は次期学習指導要領に資する先進的な取組を行う学校で活用されることを想定して作成され、「英語教育強化地域拠点事業」の研究開発学校、及び英語教育に関する教育特例校で使用されています。

上記以外の学校で本教材を活用する場合は、「補助教材のポイント」や補助教材の性質、及び下記「絵本活用に対する基本的な考え方」を十分踏まえた上での活用をお願いします。なお、デジタル教材については、**所管の教育委員会**にお問い合わせください。



この絵本では、秋の森の中で動物たちがかくれんぼをして遊んでいる場面を扱っています。

今後の研修等の予定

主催	内容	実施日
若桜町立若桜学園	文部科学省「英語教育強化拠点事業」指定 英語科・外国語活動実践研究中間報告会 (3・6・9年公開) 指導助言者：東京家政大学 教授 太田 洋 氏	11月30日 (水) 13:50~ 場所：若桜町立若桜学園
鳥取県教育委員会	県英語教育推進フォーラム 県内の優れた取組紹介及び講義 講義の講師：明治大学准教授 廣森 友人 氏	10月28日 (金) 場所：倉吉未来中心
	推進リーダーによる授業公開 若桜町立若桜学園 吉川 智子 教諭 (11月30日) 八頭町立安部小学校 有田 知代 教諭 (1月17日) 境港市立外江小学校 吉田 勝雄 教諭 (11月4日)	県教育センターホームページ参照 http://www.torikyo.ed.jp/kyoiku/
	エキスパート教員による授業公開 鳥取市立青谷小学校 山根 裕子 教諭 (10月4日) 智頭町立智頭小学校 佐藤 秀樹 教諭 (2月)	県教育センターホームページ参照 http://www.torikyo.ed.jp/kyoiku/

ぜひこの機会に研修等に参加していただき、外国語の教科化、早期化に向けて準備を進めてください。

